

指先に咲く 桜色の音色

ルッチプラザから音楽の素晴らしさを伝えていきたい

ただ さくら 武田 桜(22)

ピアノと出会う

母がピアノ教室を開いているので、5歳ぐらいから母に教わりながらピアノに触れていました。小学2年生の頃から本格的にピアノを習い始め、コンクールや演奏会に出場するようになりました。

ピアノの魅力

作曲家の意図やその時代の背景を楽譜から読み取って、そこに自分の個性として、情熱さや力強さを加え演奏をすることが魅力だと感じています。

今はまだ研究中ですが、今後は寂しさや静けさも個性として表現できるといいなと思っています。

大切にしていること

自分だけが満足する演奏ではなく、聴いてくださっているお客さんの心に響く演奏や、作曲家の思いを読み取って伝えることを大切に日々努力しています。

ルッチプラザでの演奏

母のピアノ教室の発表会が毎年ルッチプラザで行われていて、私も幼い頃から出演しています。ルッチプラザのホールは音の響きが良く、ものすごく安心感があり、大好きなホールの一つです。

また昨年ルッチプラザで行われたコンサートに出演させていただき、地元ということもあり聴いてくださるお客さんも温かく、スタッフの皆さんもすごく支えてくださり嬉しかったです。

これからの夢

試験に合格し、4月から大学院に進学が決まっているので、さらに自分の演奏に磨きをかけたいと思っています。また、今は大学の近くで子どもたちにピアノを教えていて、今後は演奏活動も続けながら、幼い頃からの夢であるピアノの先生を目指す、多くの人に音楽の素晴らしさを伝えていきたいです。

若者へメッセージ

可能性は無敵大なので、自分が行動や努力をすればするほど視野は広がると思いますが、夢への挑戦には、恐怖心を捨てて全力で取り組んでほしいです。

武田 桜

2002年2月生まれ。愛知県立芸術大学在学中。これまでに北村聖子、甲斐環、多川響子の各氏に師事。現在は内本久美氏に師事。5歳のときピアノ教室を開いている母親からピアノを習い始め、9歳のとき初めて『第1回ルッチプラザ・ピアノコンクール』で優秀賞を受賞。その後も滋賀県や国際的なコンクール等で多数受賞。4月からは大学院への進学を決め、今後も自分の音色を追求していく。

動画でも紹介!

市公式YouTubeチャンネル



伊吹山テレビ3月1日号